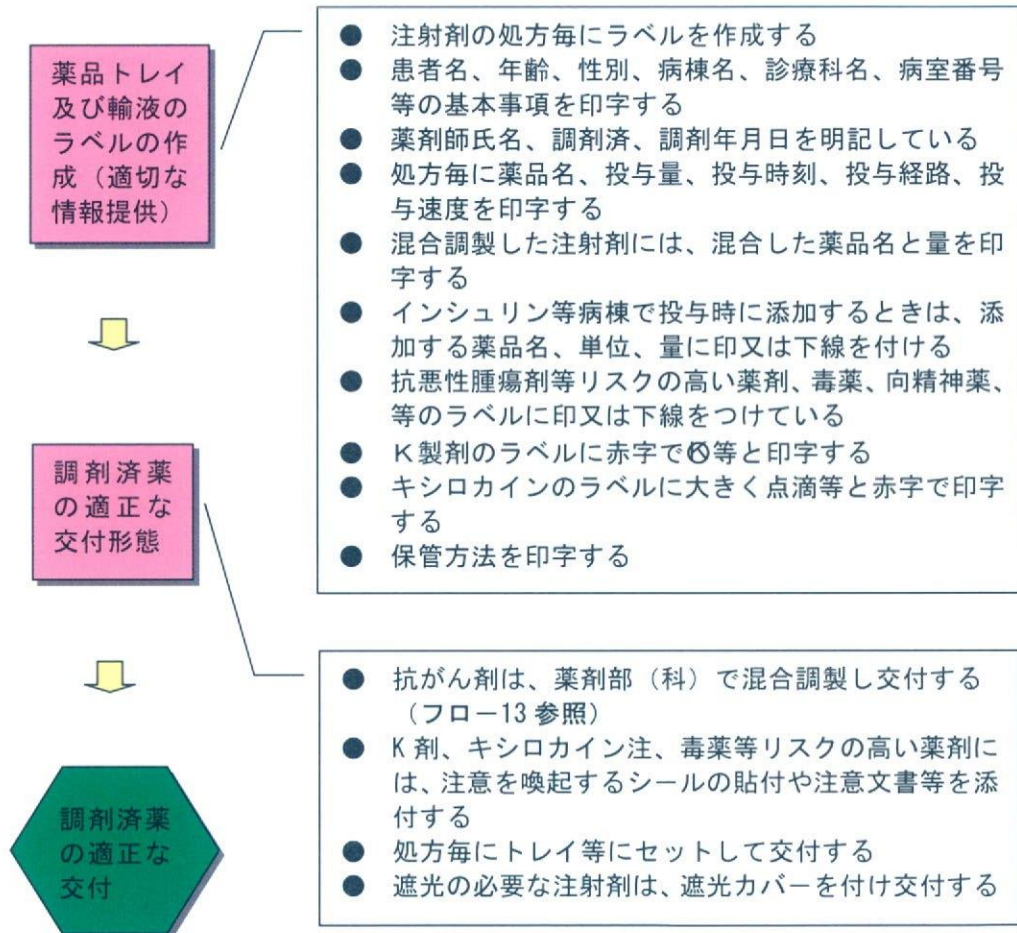
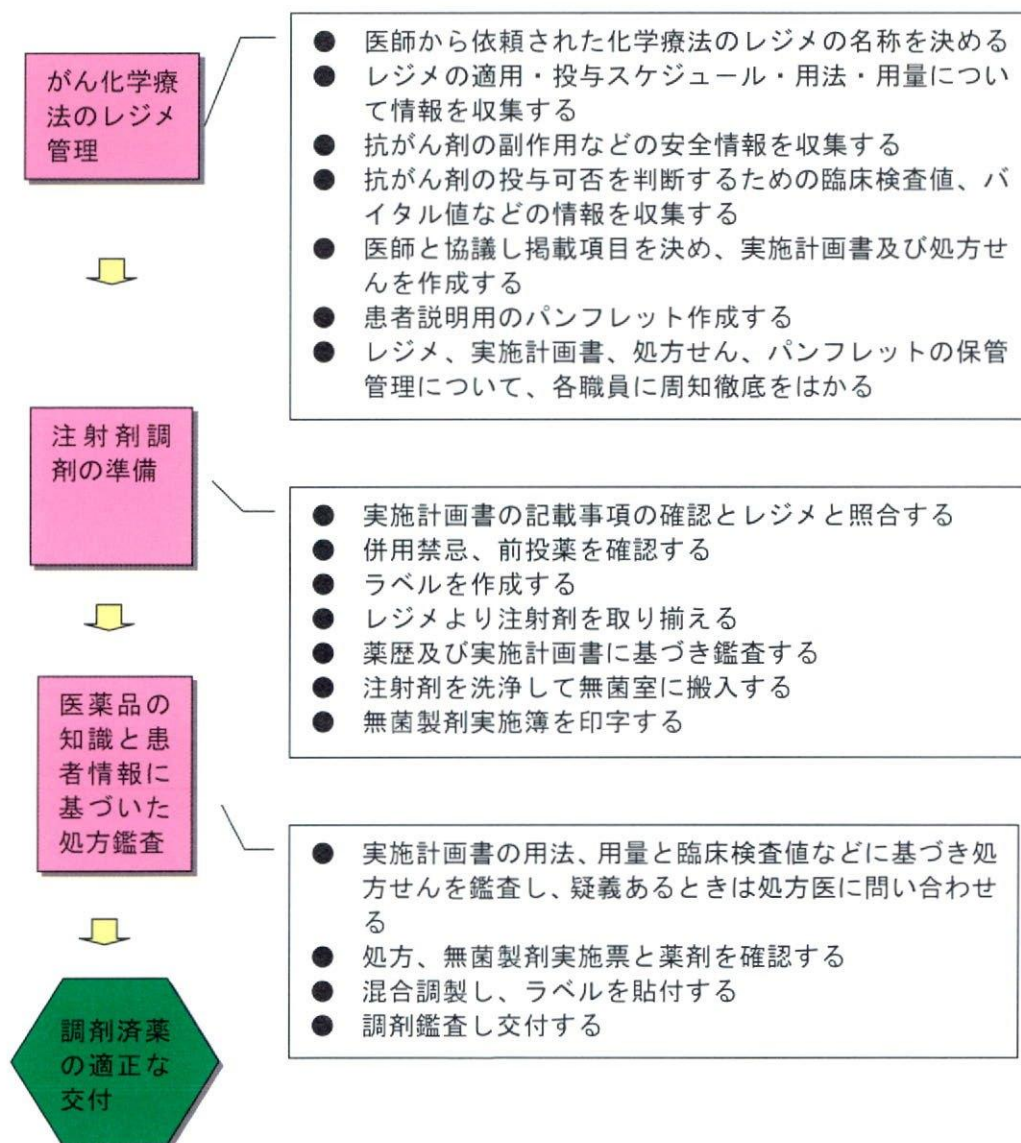


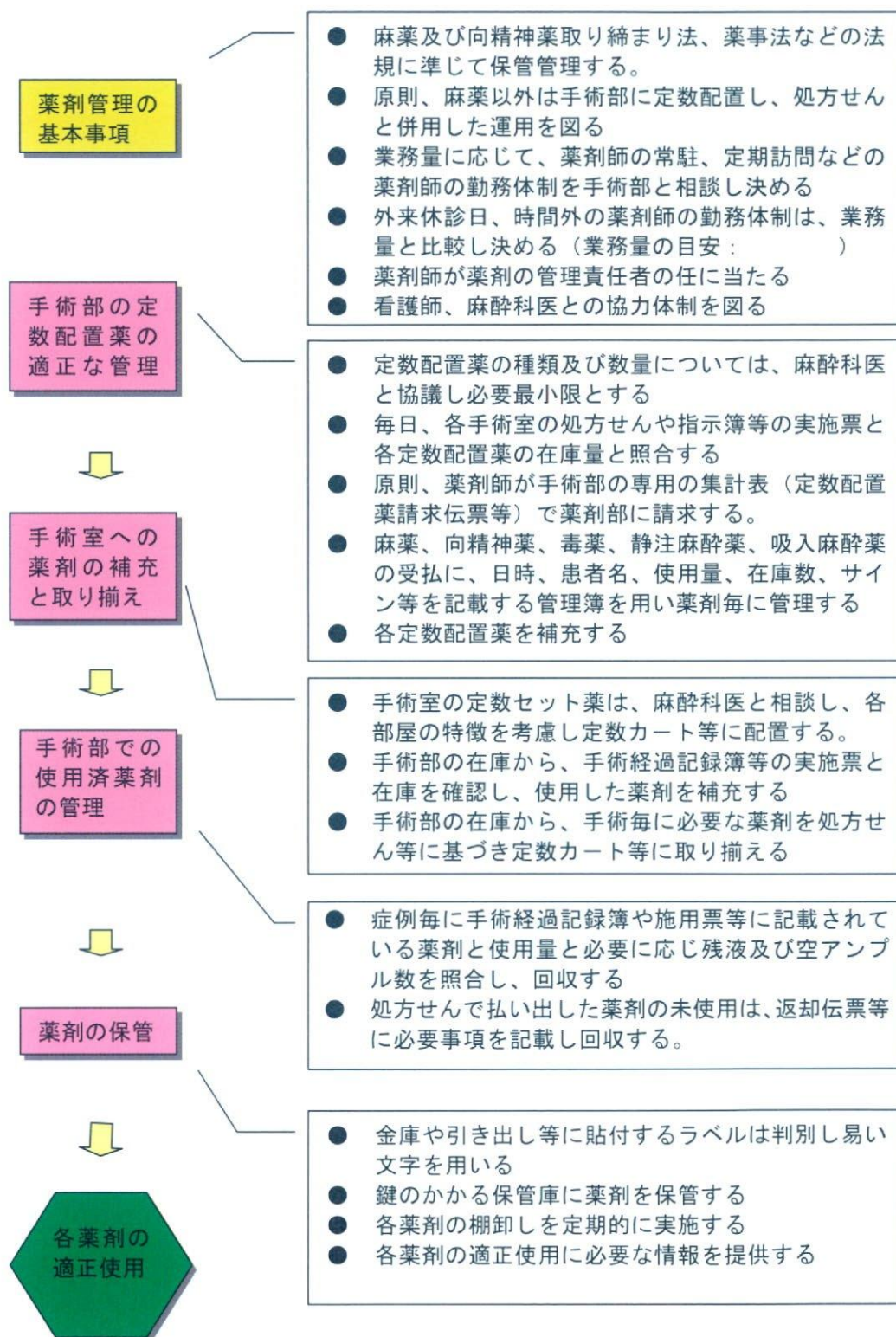
フロー12 与薬準備及び与薬での医薬品の取り違え等防止のための
調剤済薬の適正な交付(注射剤)



フロー13 抗がん剤の調製



フロー14 これからの薬剤師による手術部の薬剤管理（案）
麻薬、向精神薬、筋弛緩薬、静注麻酔薬、吸入麻酔各薬の管理



謝 辞

平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金（医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業）による研究「医薬品の取り違え防止の視点に立った薬剤師業務のあり方に関する研究」では、入院処方せんの疑義照会の実施状況、薬剤師による手術部での薬剤管理業の現況のアンケート調査に多くの薬剤部（科）の先生方のご協力をいただき、本研究をまとめ上げることができました。ご協力下さいました薬剤部（科）の先生方に深く感謝申し上げます。

研究班構成メンバー

主任研究者

佐藤 秀昭 石巻市立病薬剤部門長

研究協力者

内野 克喜 東京通信病院薬剤部長
遠藤 一司 独立行政法人国立病院機構がんセンター東病院薬剤部長
片山 潤 石巻市立病院診療部門薬剤科副部長
門林 宗男 兵庫医科大学病院薬剤部長
黒山 政一 北里大学東病院薬剤部長
土屋 文人 東京医科歯科大学歯学部附属病院薬剤部長
直良 浩司 国立大学法人島根大学医学部附属病院助教授・副薬剤部長
安岡 俊明 （社）日本病院薬剤師会事務局長

医薬品の取り違え防止の視点に立った
薬剤師業務のあり方に関する研究

資料-1、2

疑義照会実施状況に関する調査

施設名 _____

記入者名 _____

下記の設問の回答にご協力下さい。よろしくお願いします。

1. 疑義照会に関する手順書についてお伺いします。
 - 手順書を作製し運用している
 - 作製中である。
 - 作製する予定はない
2. 入院処方に対する疑義照会内容の記録についてお伺いします。
 - 経過（何時、誰が、何処に、返答、対応など）を記録
 - 結果のみを記録
 - 記録していない
3. 入院患者の薬歴についてお伺いします。
 - 全入院患者の持参薬を含む薬歴を記録している。
 - 全入院患者の処方薬の薬歴を記録している。
 - 特定患者の持参薬を含む薬歴を記録している。（特定患者： _____）
 - 特定患者の処方薬の薬歴を記録している。（特定患者： _____）
 - 薬歴は記録していない
4. 調剤時の薬歴の利用についてお伺いします。
 - 全入院患者に薬歴に基づく調剤を実施している。
 - 特定患者に薬歴に基づく調剤を実施している。（特定患者： _____）
 - 薬歴は調剤に利用していない。
5. 入院患者の個人情報（病名、既往歴、アレルギー歴など）についてお伺いします。
 - 全ての入院患者の個人情報を収集している。（設問6へ進んで下さい）
 - 特定の入院患者の個人情報を収集している。（特定患者： _____）
（設問6へ進んで下さい）
 - 入院患者の個人情報を収集していない。（設問8へ進んで下さい）
6. 収集している個人情報を○で囲んで下さい。（複数回答可）
病名 _____ 既往歴 _____ 副作用歴 _____ アレルギー歴 _____ 肝機能 _____ 腎機能 _____ その他（ _____ ）
7. 調剤時の収集した患者情報の利用についてお伺いします。
 - 全入院患者に患者情報に基づく調剤を実施している。
 - 特定患者に患者情報に基づく調剤を実施している。（特定患者： _____）
 - 患者情報は調剤に利用していない。
8. 入院患者の持参薬の対応についてお伺いします。
 - 原則全入院患者の持参薬を鑑別している。
 - 特定患者の持参薬を鑑別している。（特定患者： _____）
9. 採用薬品数を教えて下さい
内用薬 _____ 種類 外用薬 _____ 種類 注射薬 _____ 種類
10. 処方オーダーリングの導入についてお伺いします。
 - 内用薬、外用薬オーダのみ実施している。
 - 内用薬、外用薬、注射薬オーダを実施している。
 - 処方オーダーリングは導入していない。

外来 内・外用 疑義照会実施内容についてのアンケート

処方せん枚数		合計	枚									
調査期間		～	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目
問い合わせ事項			疑義	変更	疑義	変更	疑義	変更	疑義	変更	疑義	変更
形式に関するチェック項目	基本情報	氏名・年齢・性別										
	処方薬	不明瞭な記載 非採用薬の記載 略語の確認										
	用量	不明瞭な文字・数字 単位違い 数違い 記載漏れ										
	用法	投与日数 投与回数 投与経路 投与時間(食前食後等) 記載漏れ 医師コメント										
薬学的知識に基づく疑義照会	処方薬	重複投与 投与禁忌 薬物相互作用 配合変化										
	用量	用量超過 低用量 高齢者投与量 小児投与量										
	用法	投与日数(長期投与など) 投与回数 投与時間(食前食後等)										
患者情報(薬歴含)に基づく疑義照会	処方薬	適応外処方薬 重複投与(持参薬など) 投与禁忌(既往歴) 投与禁忌(アレルギー歴) 薬物相互作用 臨床検査値 副作用の発現 他患者の処方薬 中止薬の処方 処方薬の記載漏れ										
	用量	肝機能 腎機能 心疾患 副作用症状 TDM 前回処方と異なる用量										
	用法	前回と異なる用法										
	剤形変更	高齢者(嚥下作用等ADL) 小児										

入院 内・外用 疑義照会実施内容についてのアンケート

処方せん枚数		合計	枚									
調査期間		～	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目
問い合わせ事項			疑義 変更	疑義 変更	疑義 変更	疑義 変更	疑義 変更	疑義 変更	疑義 変更	疑義 変更	疑義 変更	疑義 変更
形式に関するチェック項目	基本情報	氏名・年齢・性別										
	処方薬	不明瞭な記載 非採用薬の記載 略語の確認										
	用量	不明瞭な文字・数字 単位違い 数違い 記載漏れ										
	用法	投与日数 投与回数 投与経路 投与時間(食前食後等) 記載漏れ 医師コメント										
薬学的知識に基づく疑義照会	処方薬	重複投与 投与禁忌 薬物相互作用 配合変化										
	用量	用量超過 低用量 高齢者投与量 小児投与量										
	用法	投与日数(長期投与など) 投与回数 投与時間(食前食後等)										
患者情報(薬歴含)に基づく疑義照会	処方薬	適応外処方薬 重複投与(持参薬など) 投与禁忌(既往歴) 投与禁忌(アレルギー歴) 薬物相互作用 臨床検査値 副作用の発現 他患者の処方薬 中止薬の処方 処方薬の記載漏れ										
	用量	肝機能 腎機能 心疾患 副作用症状 TDM 前回処方と異なる用量										
	用法	前回と異なる用法										
	剤形変更	高齢者(嚥下作用等ADL) 小児										

入院 注射 疑義照会実施内容についてのアンケート

処方せん枚数	合計 枚	枚	枚	枚	枚	枚	枚	枚	枚	枚	枚	
調査期間	～	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	
問い合わせ事項		疑義変更	疑義変更	疑義変更	疑義変更	疑義変更	疑義変更	疑義変更	疑義変更	疑義変更	疑義変更	
形式に関するチェック項目	患者基本情報	氏名・年齢・性別										
	処方薬	不明瞭な記載 非採用薬の記載 略語の確認										
	用量	不明瞭な文字・数字 単位違い 数違い 記載漏れ										
	用法	投与回数 投与経路 投与時間 記載漏れ 医師コメント										
薬学的知識に基づく疑義照会	処方薬	重複投与 投与禁忌 薬物相互作用 配合変化										
	用量	用量超過 低用量 高齢者投与量 小児投与量										
	用法	投与回数 投与時間 投与速度										
患者情報（薬歴含）に基づく疑義照会	処方薬	適応外処方薬 重複投与（持参薬など） 投与禁忌（既往歴） 投与禁忌（アレルギー歴） 薬物相互作用 臨床検査値 副作用の発現 他の患者の処方 中止薬の処方 処方薬の記載漏れ										
	用量	肝機能 腎機能 心疾患 副作用症状 TDM 前回処方と異なる用量										
	用法	前回と異なる用法										
	剤形変更	高齢者（嚥下作用等ADL） 小児										

手術部で使用する薬剤の管理と取り扱いに関する調査について(依頼)

調査票-1 薬剤師へのアンケート

1. 記述式の設問 ()には、具体的な数字や該当事項を記載ください。
2. 各設問の事項を実施していれば各薬剤又は「はい」を○で囲んで下さい
3. 手術部とは、手術室を含めない薬剤を保管している部屋の名称としました
4. 手術室とは、実際に手術を行うユニット(部屋)の名称としました

I 基本 事項	1	一般病床数	()	床	()			
	2	手術室数	()	室	()			
	3	麻酔方法	全麻	腰麻(硬)	局麻	その他		
		月間手術件数	()	件	()	件	()	件
		月間緊急手術件数	()	件	()	件	()	件
	4	薬剤部(科)職員数	常勤薬剤師	()	人	非常勤薬剤師	()	人
			日直	()	人	オンコール待機	()	人
	5	外来休診日の薬剤師の人数	宿直	()	人	オンコール待機	()	人
		時間外(夜間)の薬剤師の人数						
	6	手術部に在庫してある薬剤の管理責任者を○で囲んで下さい	麻酔科医	他の医者	薬剤師	看護師	その他	
	7	麻酔科医の人数	常勤医	()	人	非常勤医	()	人/週
			研修医	()	人			

10 手術部から薬剤部への薬剤の請求についてお尋ねします

- ① 処方せんや施用票等の患者個人票により請求している(使用後も含めて)
- ② 薬剤師が随時薬剤請求伝票で請求している
- ③ 薬剤師が手術部の専用の集計票(定数配置薬請求伝票等)で請求している
- ④ その他 上記以外の方法で薬剤師が実施している薬剤の請求方法について、その具体例を記載して下さい

麻薬
向精神薬 第2種
向精神薬 第3種
筋弛緩薬
静注麻酔薬
吸入麻酔薬

麻薬
向精神薬 第2種
向精神薬 第3種
筋弛緩薬
静注麻酔薬
吸入麻酔薬

麻薬
向精神薬 第2種
向精神薬 第3種
筋弛緩薬
静注麻酔薬
吸入麻酔薬

()

11 手術室への薬剤の補充についてお尋ねします

- ① 手術部の在庫から、薬剤師が手術経過記録簿等の実施票と在庫を確認し、使用した定数セット薬剤を補充している
- ② 手術部の在庫から、薬剤師が在庫を確認し、不足した定数セット薬剤を補充している
- ③ その他 上記以外の方法での薬剤の補充について、その具体例を記載して下さい

麻薬
向精神薬 第2種
向精神薬 第3種
筋弛緩薬
静注麻酔薬
吸入麻酔薬

麻薬
向精神薬 第2種
向精神薬 第3種
筋弛緩薬
静注麻酔薬
吸入麻酔薬

()

12 手術室への薬剤の取り揃えについてお尋ねします

- ① 手術部の在庫薬から、薬剤師が医師の指示票や手術毎の薬剤セット伝票等により手術室毎に必要な薬剤をカート等に取り揃えている
- ② 薬剤部で、医師の指示票や定数セット伝票等により手術室毎に必要な薬剤を薬剤カート等に取り揃えている
- ③ その他 上記以外の方法で実施している取り揃えについて、その具体例を記載して下さい

麻薬
向精神薬 第2種
向精神薬 第3種
筋弛緩薬
静注麻酔薬
吸入麻酔薬

麻薬
向精神薬 第2種
向精神薬 第3種
筋弛緩薬
静注麻酔薬
吸入麻酔薬

()

13 使用済薬剤の管理についてお尋ねします

- ① 薬剤師が症例毎に手術経過記録簿等に記載された薬剤使用量を集計し、手術部の在庫と比較し定数配置薬請求伝票等に記載している
- ② 薬剤師が症例毎に手術経過記録簿や施用票等に記載されている薬剤と使用量と残液及び空アンブル数を照合し、回収している
- ③ 処方せんにより払出した未使用の薬剤は返却伝票等に必要事項を記載し薬剤師が回収して
- ④ その他 上記以外で実施している管理等について、その具体例を記載して下さい

麻薬	向精神薬 第2種	向精神薬 第3種	筋弛緩薬	静注麻酔薬	吸入麻酔薬
麻薬	向精神薬 第2種	向精神薬 第3種	筋弛緩薬	静注麻酔薬	吸入麻酔薬
麻薬	向精神薬 第2種	向精神薬 第3種	筋弛緩薬	静注麻酔薬	吸入麻酔薬

()

14 薬剤部から手術部へ払い出した薬剤(手術部の在庫)の保管についてお尋ねします

- ① 手術部で鍵のかかる保管庫に薬剤を保管している
- ② 薬剤の受払に、日時、受払先、受払数、在庫数、サイン等を記載する管理簿を薬剤ごとに使用し管理している
- ③ 薬剤師が薬剤の棚卸しを定期的¹に実施している
- ④ 手術部に毒薬、劇薬の表示等薬剤管理に関する適切な情報を提供している
- ⑥ その他 上記以外の方法で実施している保管業務について、その具体例を記載して下さい

麻薬	向精神薬 第2種	向精神薬 第3種	筋弛緩薬	静注麻酔薬	吸入麻酔薬
麻薬	向精神薬 第2種	向精神薬 第3種	筋弛緩薬	静注麻酔薬	吸入麻酔薬
麻薬	向精神薬 第2種	向精神薬 第3種	筋弛緩薬	静注麻酔薬	吸入麻酔薬

- 1.はい
 2. いいえ
- ()

手術部で使用する薬剤の管理と取り扱いに関する調査について(依頼)

調査票-2 手術部の薬剤管理について麻酔科医にお尋ねします

1. 記述式の設問 ()には、具体的なことを記載ください。
2. 各設問を考えているか又は該当すれば薬剤毎に「はい」を○で囲んで下さい

	麻薬	向精神薬 第2種	向精神薬 第3種	筋弛緩薬	静注麻酔薬	吸入麻酔薬
① 危機管理の一環として、薬剤の適正管理は非常に重要な業務と位置づけるべきと考えますか	はい	はい	はい	はい	はい	はい
② 薬剤の専門知識を学んだ薬剤師が責任を持って薬剤を管理すべきと考えますか	はい	はい	はい	はい	はい	はい
③ 現況から判断して、薬剤師の薬剤管理へのかわりについて十分と考えますか	はい	はい	はい	はい	はい	はい
④ 過去、薬剤管理で何らかの問題が起きたことがありますか	はい	はい	はい	はい	はい	はい
⑤ 手術前に処方せんにより薬剤の払い出しが可能と考えますか	はい	はい	はい	はい	はい	はい
⑥ 薬剤管理に薬剤師がかかわるメリットについて、何かお考えがありましたら記載して下さい	()

調査票-3 薬剤部(科)から手術部に払い出した薬剤の数量について調査依頼

1. 各設問の()には、具体的な数字を記載ください。

麻薬	1	6月の1カ月間の麻薬払い出し数	塩酸モルヒネ 1%1ml、1%5ml ()本 ()本	フェンタニール 0.005%2ml ()本 ()本	塩酸ペチジン 35mg/ml ()本 ()本	その他の麻薬	()本 ()本
向精神薬	2	6月の1カ月間の向精神薬払い出し数	ブプレノルフィン 0.2ml、0.3ml ()本 ()本	ペンタジシン 15mg、30mg ()本 ()本	ジアゼパム 2mg、10mg ()本 ()本	ミタゾラム 10mg	その他の向精神薬 ()本
筋弛緩薬	3	6月の1カ月間の筋弛緩薬の払い出し数	臭化ベクロニウム 4mg、10mg ()本 ()本	塩化スキサメトニウム 2% ()本 ()本	その他の筋弛緩剤	()本 ()本	()本
静注麻酔薬	4	6月の1カ月間の麻酔薬の払い出し数	プロポフォール 20ml、50ml ()本 ()本	チオペンタール 0.5g ()本 ()本	塩酸ケタミン 200、500mg ()本 ()本	その他の麻酔薬	()本 ()本
吸入麻酔薬	5	6月の1カ月間の麻酔薬の払い出し数	ハロタン ()本 ()本	イソフルラン ()本 ()本	エンフルラン ()本 ()本	セボフルラン	その他の吸入麻酔薬 ()本 ()本